



みやぎ 2025 全国育樹祭

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

全国育樹祭とは

健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えるため、昭和52年から毎年秋に、開催都道府県と(公社)国土緑化推進機構の共催により開催。全国植樹祭で天皇皇后両陛下がお手植えされた樹木を皇族殿下がお手入れされる育樹運動のシンボリック行事のほか、皇族殿下によるおことばや各種表彰等の式典行事を実施。

10月4日(土)から5日(日)にかけて、「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」をテーマに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のご臨席の下、第48回全国育樹祭が宮城県白石市「国立花山青少年自然の家南蔵王野営場」及び利府町「セキスイハイムスーパーアリーナ」で開催されました。

4日のお手入れ行事では、代表参加者として庄子農林水産大臣政務官等による育樹活動(施肥)が行われ、オープニングアトラクションでは宮城県出身の奏者による津軽三味線の演奏が披露されました。その後、平成9年の第48回全国植樹祭で当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたブナの枝払いとオオヤマザクラへの施肥が秋篠宮皇嗣同妃両殿下により行われました。

5日の式典行事では、皇嗣殿下から「震災の教訓が広く伝承され、森林を守り育てていく人々の想いがここ宮城の地から全国に広がっていくことを祈念します。」とおことばがありました。また、緑化推進や森林づくり活動に

功績のあった方々への表彰と、笹川農林水産副大臣の立会いの下、全国から選ばれた緑の少年団への苗木の贈呈が行われました。

メインテーマアトラクション「森と海と人の物語」では、海岸防災林や宮城県の森林・林業の歴史に触れながら、森と海を守る人々の活動を紹介。また、東日本大震災を乗り越え、今と未来をつないでいく人々の想いを、出演された俳優の前原滉さんや、私立常盤木学園高等学校音楽科、利府町立利府西中学校の皆さんの歌で表現されました。

最後に(公社)国土緑化推進機構の濱田理事長による「大会宣言」等が行われ、式典は幕を閉じました。

次回、第49回全国育樹祭は「育てて使おう 地球に優しい 緑の資源」を大会テーマに、令和8年秋季に和歌山県で開催される予定です。



緑の少年団へお声がけされる秋篠宮皇嗣同妃両殿下



育樹活動を行う庄子農林水産大臣政務官



おことばを述べられる秋篠宮皇嗣殿下



お手入れをされる秋篠宮皇嗣殿下



表彰を行う笹川農林水産副大臣(左から3人目)

